

令和 2 年 6 月 18 日現在

機関番号：32686

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2016～2019

課題番号：16H02737

研究課題名(和文) アジアの越境する子どもたちとトランスナショナル階層社会の出現に関する実証研究

研究課題名(英文) Child Migration in Asia: Emerging Transnational Class

研究代表者

石井 香世子 (ISHII, Kayoko)

立教大学・社会学部・教授

研究者番号：50367679

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 18,200,000円

研究成果の概要(和文)：本科研共同研究では、東・東南アジア圏にまたがる移民の移動圏を分析範囲として、移民送出し社会と受入れ社会の双方から、移民の再生産の権利を、「子ども」という分析視座を用いて分析した。この分析研究を通じて、公的な制度としての市民権の保障枠組みと、実態としての市民権行使のあいだには乖離があることが浮き彫りにされた。今日では、長期にわたり国境を越えて繰り返される移動の契機と経路が複雑化している。これにより、国家レベルの保障枠組みから「とりこぼされる」存在が、分析対象のどの地域にも存在することがわかった。移民(労働者)の子として成長・社会化する人々は、この面の脆弱性が高い存在であることもわかった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

既存研究において欧米諸国で暮らす移民に関する研究として実施されることの多い研究主題を、東・東南アジアの移動圏を研究対象として実施したことで、人種・民族の違いに基づく差別問題の近接枠組みで分析されることも多い点を、近代国家における移民制度と国籍・市民権制度そのものの構造的課題性として分析する視座を提供できたと考える。これを通じて、国民国家制度が前提とする「国民」とそれ以下のグループの人々、両者の境界付近に位置する人々が、いかに公的ルールの狭間に落ち込んでいるかについて、分析枠組の提示が必要である点を示したといえよう。社会的にも、無国籍の子どもたちへの注意喚起を促す意義があったと言える。

研究成果の概要(英文)：This research project is designed as the second phase of JSPS research project to analyze family-related migration in East/Southeast Asia, started since 2010. The first phase, a Research Project on the Duplicated Trajectories of Marriage Migrants in Asia (2010-2015), tried to describe how repeated/complicated migration trajectories of family migrants are, and as results, how easily degraded the family migrants statuses are, although their identity may be multiple.

Upon the goal of the first phase, the second phase of the research project was built to pursue analysis on multi-affiliated identities and degraded legal, economic and social status of family migrants. The target of the second phase is focused to the children who migrate cross-borderly, or the children who experience crossing borders in their daily life, within family, school, community and urban spaces, to describe the gap between the multi-affiliated identity and degraded legal (economic, social) status.

研究分野：社会学、東南アジア(タイ)地域研究

キーワード：移民 市民権 アジア 子ども

1. 研究開始当初の背景

近年、社会学の中でも教育に光を当てた研究の中に「外国につながる子ども」に関する研究が生まれつつあるが(宮島 2014; 坪谷・小林 2013)、教育学分野で川上らを中心に蓄積が進んでいる諸研究と同様に(川上 2006 など)、二言語教育や不就学問題を中心とした教育分野に焦点を当てたものが多い。つまり、国内の「越境する子ども」に関する研究は、日本で暮らす「文化的・社会的背景を異にする移民・外国人の子どもたちに、いかにして適切な教育を保障するか」(宮島 2014)に関する研究に偏る傾向がある。また国外では、1980年代から膨大な移民の子ども・子ども移民(Child Migration)に関する研究が蓄積されている。これらの研究は、おもに2つの系統が別々に発展している。つまり、(1) 移民の子どもたちの言語・文化・アイデンティティの多重性と選択的/戦略的利用可能性について論じた研究と(Cohen 2008; Smith 2014 など)、(2) EU 諸国など移民2世に市民権・国籍を付与する制度を整備した国で、主流民族と言語・文化・アイデンティティが異なることを根拠に、法的には市民権を持ちながら「2級市民(second-class citizen, Conover et al. 2004)としての権利にしかアクセスできない人々が生まれているという研究が、別々に進展している(Barabantseva & Sutherland 2012; Shipper 2010 など)。

そこで本研究では、これら2つの系統の研究を、実証研究によってつなぎ合わせる形で、「多重的(multi-affiliated)なアイデンティティを持つ越境する子どもたちの、市民権をめぐるヒエラルキー状況」(Shipper 2010)について分析する。この検証を通じて、越境する子どもたちは、越境者が直面する「グローバル社会空間のヒエラルキー」に直面して生きているのではないかという点を検証する。研究代表者と研究分担者・協力者の多くは、2011-2014年にかけて、「アジアにおける移民の女性化」(Hugo 2003; Mills 2001; Oishi 2005; Biao, Yeoh, Toyota 2013)を分析する科研費共同研究「アジアにおける結婚・離婚移住ネットワークの多方向性と還流性に関する実証研究」(基盤(A)海外 no. 23251006)を実施した。その過程で「移民をめぐる問題の核心は、子ども世代に移行しつつあるのではないか」という着想が発展的に生まれ、共同研究の第2フェーズとして本共同研究が生まれた。

2. 研究の目的

本研究では、越境移住、もしくは自分自身は国境を越えて移動せずとも、親世代の越境移住(労働)によって、社会化に大きな影響を受けて成長する人々を「移動する子ども」と位置づける。そして、東・東南アジア圏にまたがる移民の移動圏を分析範囲として、移民送出し社会と受入れ社会の双方から、移民の再生産の権利を、「子ども」という分析視座を用いて分析することを目的とする。この分析研究を通じて、公的な制度としての市民権の保障枠組みと、実態としての市民権行使のあいだには乖離があることの検証を目指した。ここから、国民という枠を超えた、トランスナショナルな階層社会化の進行を浮き彫りにすることを目的とした。

研究代表者と研究分担者の一部は、前述の科研費共同研究により、アジアの結婚移民を、従来の「比較的貧しい国から比較的豊かな国へ移り住む女性移民」から、「トランスナショナル世帯のライフステージの変化に伴って越境移住を繰り返すことも多い、国民国家のはざままで、どこで住んでも家族の誰かが市民権への制約あるアクセスのなかで生きるディアスポラ」へと置き換える試みを提示した(Ishii 2016 等)。トランスナショナル世帯の越境移動が複雑に繰り返されることが明らかになるにつれ、その陰に、国境を越えて移動しながら幼児期・少年・青年

期を送る子どもたちの存在が鮮明に浮かび上がったのである。彼らは親世代より深刻に多重帰属意識と「二級市民」としての制約に直面する。この中でアジアにおける「移民の子ども化」(Colombo & Rebughini 2012; Bhabha 2014)に関する実証研究はまだ非常に少ないことを痛感した。

そこで本研究では、国境を越えた移動をする(繰り返す)子どもと(Bhabha 2014; 竹田 2013) (本人は越境移動しておらずとも) 2つ以上の言語・文化やアイデンティティの間を行き来して生活する子ども(Colombo & Rebughini 2012; 川上 2006)を、物理的にどこにいても越境行為に晒されている「都市の中の境界域」(Rosaldo 1989)に生きる「越境する子どもたち」として定義する。(具体的には(1)家族のライフステージの変化に伴い越境移住する子ども(2)親の離婚に伴い親の母国へ「戻る」子ども(3)親の滞在ビザを保証するため国籍保有国に「帰る」子ども(4)親の再婚に伴い海外養子縁組をして移住する子ども等を研究対象とする。)そして彼らは、日常的に越境する人々であるため、越境行為にまつわるヒエラルキー構造(「教育をあまり受けていない、しかも裕福でない人々に比べて、経済的エリートは国境を容易に越えることができる」Diener & Hagen 2012)に影響を受けやすいグループのひとつではないかという点を明らかにする。

3. 研究の方法

本共同研究では、共同研究参加者は、期間内に10か国で現地調査を実施し(日本/中国/韓国/台湾/ベトナム/フィリピン/インドネシア/マレーシア/タイ/カンボジア)、調査結果をつなぎ合わせて東・東南アジア全体のトランスナショナル・ヒエラルキーを捉えることを試みた。まず1年目に、研究会と国際シンポジウムを通じて、共同研究者間の理論的基盤の共有と、各メンバーのフィールド状況への相互理解を進めた。2年目もまた国際シンポジウムを実施して理論的基盤の発展を図った。またフィールドに散らばって調査を行い、2年目の終わりに国際シンポジウムを開催し、内外の研究者と議論を深めた。3年目にその発表ペーパーを英語論文特集号とするための査読・修正作業を行い、同時に日本語報告書の作成を開始した。4年目に日本語報告書を自費出版し、同時並行で英語論文特集号出版のための査読・修正作業を続けている。

4. 研究成果

本共同研究では、理論枠組みとして(1) Partial Citizenship of Family Migrants、(2) Urban Borderlands and Citizenship、(3) Transnational Class and Citizenshipの3つを共通枠組みとして、各フィールドで調査研究を実施、国際会議で発表して全体としての成果をとりまとめた。

日本については、東南アジア系の親を持つ(と推測される)日本で生まれ、日本の児童養護施設で育った子どもたちについて、無国籍の観点から実態調査を実施し、社会に還元するブックレットを出版した。これについては、Citizenship RegimeとLocal Normの交錯について学術的に分析した。また同じく日本について、日本で留学生として生きる中国出身者のなかの多様性を浮き彫りにし、そこからホスト社会からみた一面性と、移民からみた多様性の乖離とその意味を分析した。また、マレーシア、フィリピンについては、島岐部マレーシアのサバ州に生きる、フィリピン南部系の出自もしくはインドネシア領域内に出自を持つ人々について、無国籍の意味を中心に調査・分析した。またベトナムについては、韓国とのあいだの結婚・離婚移民によって生

じた、韓国で生まれベトナムで育つ子どもたちについて、市民権と国籍の観点から調査分析を行った。台湾については、これもベトナムやインドネシアから台湾への結婚移民を母として生まれた子どもたちの多様性について分析した。

既存研究において欧米諸国で暮らす移民に関する研究として実施されることの多い研究主題を、東・東南アジアの移動圏を研究対象として実施したことで、人種・民族の違いに基づく差別問題の近接枠組みで分析されることも多い点を、近代国家における移民制度と国籍・市民権制度そのものの構造的問題性として分析する視座を提供できたと考える。これを通じて、国民国家制度が前提とする「国民」とそれ以下のグループの人々、両者の境界付近に位置する人々が、いかに公的ルールの狭間に落ち込んでいるかについて、分析枠組の提示が必要である点を示したといえよう。社会的にも、無国籍の子どもたちへの注意喚起を促す意義があったといえよう。

参考文献

- 川上郁雄 2006 『「移動する子どもたち」と日本語教育——日本語を母語としない子どもへのことばの教育を考える』明石書店。
- 竹田美知 2013 『グローバル化と子どもの社会化:帰国子女・ダブルスの国際移動と多文化共生』学文社。
- 坪谷美欧子・小林宏美 編著 2013 『人権と多文化共生の高校 -外国につながる生徒たちと鶴見総合高校の実践-』明石書店。
- 宮島 喬 2014. 『外国人の子どもたちの教育: 就学の現状と教育を受ける権利』 東京大学出版会。
- Barabantseva, Elena & Claire Sutherland.(2012).*Diaspora and Citizenship*. Routledge.
- Bhabha, Jaqueline. 2014. *Child Migration & Human Rights in a Global Age*, Princeton and Oxford: Princeton University Press.
- Biao, Xiang , Brenda S. A. Yeoh , Mika Toyota. 2013. *Return: Nationalizing Transnational Mobility in Asia*. Duke University Press.
- Cohen, Elizabeth F. 2009. *Semi-Citizenship in Democratic Politics*. New York: Cambridge University Press.
- Colombo, Enzo. And Paola Rebughini. 2012. *Children of Imigrants in a Globalized World:A Generational Experience*. Palgrave Macmillan.
- Conover, Pamela Johnston. Donald D. Searing, and Ivor Crewe. 2004. “The Elusive Ideal of Equal Citizenship: Political Theory and Political Psychology in the United States and Great Britain,” *The Journal of Politics*, 66(4): 1036-1068.
- Diener, Alexander C. and Joshua Hagen. 2012. *Borders:A Very Short Introduction*. New York: Oxford University Press.
- Ishii 2016
- Graham, Elspeth. and Brenda Yeoh. 2003. “Editorial introduction: labour migration and the family in Asia,” *International Journal of Population Geography*, 9: 437-441.
- Mills, Mary Beth. 1999. *Thai Women in the Global Labor Force: Consuming Desires, Contested Selves*. New Brunswick, New Jersey and London: Rutgers University Press.
- Oishi, Nana. 2005. *Women in Motion: Globalization, State Policies, and Labor Migration in Asia*. Stanford: Stanford University Press.
- Shipper, Apichai, W. 2008. *Fighting for Foreigners: Immigration and Its Impact on Japanese Democracy*, Ithaca and London: Cornell University Press.
- Bromfield, Nicole F. and Karen Smith Rotabi. 2014. “Global Surrogacy, Exploitation, Human Rights and International Private Law: A Pragmatic Stance and Policy Recommendations,” *Global Social Welfare*, 1:123-135.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計13件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 岩井美佐紀	4. 巻 7
2. 論文標題 アジアにおける子どもの越境移動 - 外国にルーツのある子どもたちの市民権を考える -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『グローバル・コミュニケーション研究』（神田外語大学、グローバル・コミュニケーション研究所）	6. 最初と最後の頁 145-154
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 酒井千絵	4. 巻 50(1)
2. 論文標題 移動する人々のライフストーリーとグローバル化する「アジア」の変容：香港・上海就職ブームという対象から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 関西大学社会学部起用	6. 最初と最後の頁 25-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳天璽	4. 巻 84
2. 論文標題 「アジアにおける結婚移住の多方向性」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『新鐘』	6. 最初と最後の頁 56-57
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 荻巣崇世	4. 巻 21(1)
2. 論文標題 「ボーダー」に生きる人々の教育戦略：在カンボジア・ベトナム系住民と学校	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際教育協力論集	6. 最初と最後の頁 17-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuya Tokoro	4. 巻 1
2. 論文標題 The Turing Test in the Wild: When NonHuman “ Things ” Become Others	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Others: The Evolution of Human Sociality	6. 最初と最後の頁 407-424
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuya TOKORO & Hisao TOMIZAWA	4. 巻 Vol.2
2. 論文標題 Introduction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia(Vol.2): Perspectives from Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, and Cambodia	6. 最初と最後の頁 pp.1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikuya TOKORO	4. 巻 Vol.2
2. 論文標題 The Mindanao Conflict and Peace Process from the Aquino to the Duterte Presidency: A Perspective from the Sulu Moro Community.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia(Vol.2): Perspectives from Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, and Cambodia	6. 最初と最後の頁 pp. 245-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳天璽	4. 巻 Vol. 22 Nos.4-5-6
2. 論文標題 「多文化共生社会の実現に向けて 大学と地域の連携を考える」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『横浜国際社会科学研究』	6. 最初と最後の頁 141-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 陳天璽	4. 巻 84
2. 論文標題 「アジアにおける結婚移住の多方向性」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『新鐘』	6. 最初と最後の頁 56-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kannapa Ponpongrat, Kayoko Ishii	4. 巻 27
2. 論文標題 Social Vulnerability of Marginalized People in Times of Disaster: A Case Study of The Great East Japan Earthquake and Tsunami	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Disaster Risk Reduction	6. 最初と最後の頁 133-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 酒井千絵	4. 巻 19
2. 論文標題 「誰が子どもの世話をするのか シンガポール映画「イロイロ」に見る家事労働と女性」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『子どもの虐待とネグレクト』	6. 最初と最後の頁 --
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田祥子	4. 巻 13
2. 論文標題 「インドネシア華人女性の国際結婚を通じた世帯保持：西カリマンタン州シンカワン市の事例から」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 華僑華人研究	6. 最初と最後の頁 27-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ishii, Sari K.	4. 巻 14(5)
2. 論文標題 Transnational regimes of labor and statelessness: Intersections of citizenship regimes and local norms in East and Southeast Asia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sociology Compass	6. 最初と最後の頁 --
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/ soc 4. 12788	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計56件 (うち招待講演 28件 / うち国際学会 30件)

1. 発表者名 Kayoko Ishii
2. 発表標題 Abandoned Children: Overlooked 'Care Cost' by Both Ends of Migratory Flow
3. 学会等名 International Workshop, Care and Migration in Asia: Transnational Care Chain in Reproductive Labor (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 KUDO, Masako
2. 発表標題 Growing up with mixed roots: Children of Japanese mothers and Pakistani fathers
3. 学会等名 MINDAS International Seminar & "Migration and Mobility" group workshop, "Beyond the Borders: International Marriages between South Asians and Japanese, and the 'Mixed Generation' " (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Misaki Iwai
2. 発表標題 Return-migrated Children and Their Maternal Families in Rural Vietnam
3. 学会等名 Care and Migration in Asia: Transnational Care Chain in Reproductive Labor (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 関口洋平、荻巣崇世、橋本憲之、内田直義
2. 発表標題 比較諸学の対話-これからの比較教育学を考える(5)
3. 学会等名 日本比較教育学会 第55回大会 ラウンドテーブル
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 荻巣崇世
2. 発表標題 授業研究の国際的な伝播と循環のポリティクス：教育借用理論の再構築
3. 学会等名 第78回日本教育学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 工藤正子
2. 発表標題 トランスナショナルな生活世界と混淆的なアイデンティティの形成：日本人の母親とパキスタン人の父親をもつ若者たちの事例から
3. 学会等名 第52回日本文化人類学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 工藤正子
2. 発表標題 日本人ムスリムの若者たち：トランスナショナルな生活世界とことば
3. 学会等名 ひと・ことばフォーラム（第25回）「モビリティーズ 移動する人々のリアリティを熟視する」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 工藤正子
2. 発表標題 南アジア系ディアスポラにおける文化変容：日本人の母とパキスタン人の父をもつ若者たちのアイデンティティ交渉
3. 学会等名 NIHUプロジェクト「南アジア地域研究」主催 2018年度南アジアセミナー：南アジア地域研究のフロンティア 「流動する人、モノ、文化を捉える」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 工藤正子
2. 発表標題 トランスナショナルな生活世界と帰属の感覚：アラブ首長国連邦に暮らす日本人ムスリムの若者たち
3. 学会等名 移民とシティズンシップ研究会2018年度第二回研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KUDO, Masako
2. 発表標題 Intimacy, Power, and Emotions in Evolving Transnational Families: The Case of Japanese-Pakistani Couples and Their Children
3. 学会等名 'Intimacy, sexuality and family in the process of migration: European / Asian experiences compared'
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KUDO, Masako
2. 発表標題 Negotiating Citizenship in Transnational Spaces : Young Japanese Muslim Women Born to Japanese Mothers and Pakistani Fathers
3. 学会等名 Marriage Migration, Family and Citizenship in Asia (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakai Chie
2. 発表標題 Japanese Expatriates in China Since the 1990s :Gender, Nationalism,and the Changing Status as a Migrant
3. 学会等名 XIX ISA World Congress of Sociology
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sakai Chie
2. 発表標題 Family as a buffer between multicultural individuals and single citizenship nations: Cross-border marriages between Japan and China
3. 学会等名 MARRIAGE MIGRATION,FAMILY AND CITHZENSHIP IN ASIA (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 陳天璽
2. 発表標題 「無國籍者：那些被國家遺忘的人」
3. 学会等名 海峽粵新香港論壇 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 「身体的経験をめぐる人類学と現象学からのアプローチ 不完全な身体、人種と身体、妊娠期の身体の事例から (イントロダクション)」
3. 学会等名 科研「顔身体学の構築」哲学班・人類学班合同公開WS
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 「他者とつながる」
3. 学会等名 慶應義塾大学文学部公開講座（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 床呂郁哉
2. 発表標題 「スルー諸島のムスリムの現況 マレーシア・サバとの関係を中心に」
3. 学会等名 フィリピン南部ムスリム社会に関する実務家ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横田祥子
2. 発表標題 Global Householding through Cross-border Marriage Migration of Indonesian Chinese Women: A Case Study of Singkawang, West Kalimantan, Indonesia.
3. 学会等名 International Workshop on Making Global Trajectories of Chinese Diaspora Studies in Asia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 荻巣崇世
2. 発表標題 「ボーダー」に生きる人々の教育戦略：在カンボジア・ベトナム系住民と学校
3. 学会等名 日本比較教育学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kudo, Masako
2. 発表標題 The Emergence of Associational Ties among Young Japanese Muslims -The Children of Japanese-Pakistani Binational Marriages
3. 学会等名 国際人類学会 (IUAES Conference 2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kudo, Masako
2. 発表標題 越境するムスリムの若者たち:日本人女性とパキスタン人男性の国際結婚の二世世代の事例から
3. 学会等名 日本文化人類学会第51回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kudo, Masako
2. 発表標題 『ハーフ』の若者たちの自己像:日本とパキスタンの国際結婚の子どもたち
3. 学会等名 Jinbunken-Academy Lecture Series 2017 Institute for Research in Humanities, Kyoto University "Dismantling the Race Myth (Hybridity: Beyond the Politics of "Blood")"
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kudo, Masako
2. 発表標題 Negotiating identities, constructing cultural forms: A case of Muslim youth born to Japanese mothers and Pakistani fathers
3. 学会等名 The 1st Asian Consortium for South Asian Studies "South Asian Diaspora and Popular Cultures in Asia" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kudo, Masako
2. 発表標題 トランスナショナルな生活世界における自己像の形成：国際結婚の親をもつ日本人ムスリムの事例から
3. 学会等名 京都人類学研究会1月例会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陳天璽
2. 発表標題 脱国家的アクターの可能性 人の移動と国家の“せめぎ合い”を超えるには
3. 学会等名 第15回インカレ国際セミナー『アジアの中の日本 新たな試練にどう立ち向かうか』（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 陳天璽
2. 発表標題 無国籍者：那些被國家遺忘的人
3. 学会等名 海峡粵新香港論壇（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 陳天璽
2. 発表標題 Stateless and Diversity
3. 学会等名 The 69th Japan-America Student Conference（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Chie Sakai
2. 発表標題 Experiencing Changing Relations Between Japan and China :Case studies of Japanese women in Hong Kong and Shanghai
3. 学会等名 The Women in Asia Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nicole Constable
2. 発表標題 Migrant Mothers and the Varieties of Absent Children
3. 学会等名 International Symposium: Transnational Class and Citizenship (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Michelle T.Y. Huang
2. 発表標題 Like a Family, but Not Quite: Emotional Labor and Cinematic Politics of Intimacy
3. 学会等名 International Symposium: Transnational Class and Citizenship (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Chiho Ogaya
2. 発表標題 Japanese Filipino Children (JFC) and Japan: Crossroads of Family, Nationality, Class and Migration
3. 学会等名 International Symposium: Transnational Class and Citizenship (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ploysri Porananond
2. 発表標題 The evolution of Thainess and the use of Thainess in luxury chain hotels in Phuket
3. 学会等名 チェンマイ大学 Center for Asian Tourism Research 所長 Ploysri Porananond 教授特別講演会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Rhacel Parrenas
2. 発表標題 Global Inequalities of Reproduction
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nicola Piper
2. 発表標題 Gendered Migrant Precarity and Displaced Care at the Intersection of Temporality and Transnationality
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Chand Somaiah, Brenda Yeoh
2. 発表標題 Nggak babes'(Not free); Transnational Lives and Careful Longings of Left-Behind Children in Indonesia
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Cheryll Alipio
2. 発表標題 Precarity and Partial Citizenship in the Philippines: The Lifeworlds of Left-behind Children and Care
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Harriot Beazley
2. 発表標題 I can't do anything but wait: The experiences of 'left-behind' children in Lombok, Indonesia
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Catherine Allerton
2. 発表標題 The Everyday Borders of Children of Migrants: Mapping Migration and Diversity in Sabah, Malaysia
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Michelle T.Y. Huang
2. 発表標題 Pregnant Mainland Women and the Cultural Politics of Birthright Citizenship: Towards a Feminist Geopolitics
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ji-Hye Shin
2. 発表標題 The Deportation of Korean Adoptees from the U.S. and the Quest for Citizenship
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Johanna L. Waters
2. 発表標題 Cross-border childhoods in East Asia: the role of education
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Chalermpol Chamchan, Kanya Apopornchaisakul, Kanchana Thianlai
2. 発表標題 Access to rights of migrant children in Thailand: The importance of social integration and roles of civil society
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Misaki Iwai
2. 発表標題 Citizenship of 'Children without a Homeland' in Vietnam: From the Case of the Mekong Delta Region
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hsiao-Chuan Hsia
2. 発表標題 From 'New Taiwan's Children' to 'Seeds of the Southbound': A Political and Economic Analysis of the Shifting Gaze on the Children of Southeast Asian Marriage Migrants in Taiwan
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Isabella Ng, Ada Lai
2. 発表標題 The bordered life of the stateless little ones - Asylum-Seeker Children in Hong Kong
3. 学会等名 International Conference: Children of Migration: Child Migrants, Border-Crossing Children, Border-Blurred Children (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Lara, CHEN, Tien-shi
2. 発表標題 Trans-Border and Interdisciplinary Collaboration on Statelessness in Japan and Thailand
3. 学会等名 Association for Asian Studies (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 陳 天璽
2. 発表標題 国籍、パスポートと人間
3. 学会等名 日本平和学会 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Chie Sakai
2. 発表標題 Social Actions Against Ethnic and Cultural Conflicts in Diversified
3. 学会等名 3rd International Forum of Sociology (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 YOKOTA, Sachiko
2. 発表標題 Cross-border Marriage Migration Between Indonesian Hakka Women and Other Area's Chinese Men Global Householding of Singkawang, West Kalimantan, Indonesia
3. 学会等名 The Fourth Taiwan International Conference on Hakka Studies (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Rhacel Salazar Parrenas
2. 発表標題 To be Excluded and Unfree: Revisiting the Partial Citizenship of Migrants in the 21st Century
3. 学会等名 International Symposium, Partial Citizenship of Family Migrants (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hae Yeon Choo
2. 発表標題 Contesting the Politics of Containment: Marriage Migrant Women and the Negotiation of Citizenship in South Korea
3. 学会等名 International Symposium: Partial Citizenship of Family Migrants (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Hsiao-Chuan Hsia
2. 発表標題 Citizenship Issue Faced by the Children of Marriage Migrants in Taiwan
3. 学会等名 International Symposium: Partial Citizenship of Family Migrants (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Itaru Nagasaka
2. 発表標題 Divergent Routes and Partial Citizenship: A Comparative Analysis of Child Migrants with Filipino Backgrounds in Italy and Japan
3. 学会等名 International Symposium: Partial Citizenship of Family Migrants (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Henrik Lebuhn
2. 発表標題 How the Border Colonizes Our Everyday Life:
3. 学会等名 International Symposium, Urban Borderlands and Citizenship (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Fuminori Kawakubo
2. 発表標題 Revisiting Borders: New Ideas in
3. 学会等名 International Symposium, Urban Borderlands and Citizenship (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 CHOI Susanne Y.P
2. 発表標題 Engendering Borders: Women and Children living in the China-Hong Kong Borderlands
3. 学会等名 International Symposium, Urban Borderlands and Citizenship (招待講演)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計20件

1. 著者名 床呂郁哉・吉田ゆか子・吉田優貴（編）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 科研新学術領域「トランスカルチャー状況下における顔身体学の構築」	5. 総ページ数 167
3. 書名 『トランスカルチャー状況下における顔・身体（2018年3月国際ワークショップ・プロシーディングス）』	

1. 著者名 石井香世子・小豆澤史絵	4. 発行年 2019年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 80
3. 書名 『外国につながる子どもと無国籍』	

1. 著者名 横田祥子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 593
3. 書名 『華僑華人の事典』	

1. 著者名 横田祥子(著)、白石壮一郎(編)、椎野若菜(編)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 212
3. 書名 『社会問題と出会う(FENICS100万人のフィールドワーカーシリーズ 7)』	

1. 著者名 Kudo, Masako (chapter author), Duncan Ryuken Williams ed.,	4. 発行年 2017年
2. 出版社 USC Shinso Ito Center for Japanese Religions and Culture / Kaya Press	5. 総ページ数 444
3. 書名 Hapa Japan: Identities & Representations,	

1. 著者名 Ikuya TOKORO & Hisao TOMIZAWA	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ILCAA. TUFs	5. 総ページ数 341
3. 書名 Islam and Cultural Diversity in Southeast Asia(Vol.2): Perspectives from Indonesia, Malaysia, the Philippines, Thailand, and Cambodia.	

1. 著者名 Ikuya TOKORO & Kaori KAWAI	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Kyoto & Balwyn North Victoria: Kyoto University Press & Trans Pacific Press	5. 総ページ数 406
3. 書名 An Anthropology of Things	

1. 著者名 酒井千絵・永井良和	4. 発行年 2018年
2. 出版社 世界思想社	5. 総ページ数 261
3. 書名 基礎社会学	

1. 著者名 Misaki Iwai (chapter author), Minou Teramoto ed.,	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Chiba: IDE-JETRO	5. 総ページ数 270
3. 書名 The Vietnamese Family during the Period of Promoting Industrialization, Modernization and International Integration. pp.31-44.	

1. 著者名 陳天璽, 大西 広之, 小森 宏美, 佐々木 てる	4. 発行年 2016年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 272
3. 書名 『パスポート学』	

1. 著者名 Minou Teramoto, Nguyen Duc Chien, Misaki Iwai, Bui The Cuong	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Chiba: IDE-JETRO	5. 総ページ数 --
3. 書名 The Vietnamese Family during the Period of Promoting Industrialization, Modernization and International Participation	

1. 著者名 岩井美佐紀、大田省一、大野美紀子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 神田外語大学出版局	5. 総ページ数 294
3. 書名 ベトナム「新経済村」の誕生	

1. 著者名 桑山敬己・綾部真雄	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 --
3. 書名 詳説 文化人類学	

1. 著者名 山本信人・宮原暁	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 --
3. 書名 『東南アジア地域研究入門 2 社会』	

1. 著者名 床呂郁哉	4. 発行年 2017年
2. 出版社 アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 130
3. 書名 トランスカルチャー状況下における顔・身体学の構築	

1. 著者名 床呂郁哉	4. 発行年 2017年
2. 出版社 アジア・アフリカ言語文化研究所	5. 総ページ数 118
3. 書名 もの人類学をめぐって 脱人間中心主義的人類学の可能性と課題	

1. 著者名 陳來幸、北波道子、岡野翔太	4. 発行年 2017年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 288
3. 書名 アジア遊学204 交錯する台湾認識：見え隠れする「国家」と「人びと」	

1. 著者名 赤松美和子、若松大祐	4. 発行年 2016年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 384
3. 書名 台湾を知るための60章	

1. 著者名 Acharya, Arun Kumar. Bishnu Charan Barik, and Smita Verma	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Universidad Autonoma de Nuevo Leon	5. 総ページ数 245
3. 書名 Labour Migration in the Globalization: Challenges and Perspectives	

1. 著者名 石井香世子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 ナカニシヤ出版	5. 総ページ数 177
3. 書名 国際社会学入門	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>Research Project: Child Migration in Asia https://childmigration.aa-ken.jp/</p> <p>AA研共同利用・共同研究課題：東・東南アジアの越境する子どもたち http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/projects/jrp/jrp222</p> <p>Marriage Migrants in Asia (台湾国立成功大学 ジェンダー研究所HP) http://www.wun-mma.org/partnership.html</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	荻巣 崇世 (OGISU Takayo) (00743775)	東京大学・大学院教育学研究科(教育学部)・特任助教 (12601)	
研究分担者	酒井 千絵 (SAKAI Chie) (30510680)	関西大学・社会学部・准教授 (34416)	
研究分担者	陳 天璽 (CHEN Tien-shi) (40370142)	早稲田大学・国際学術院・教授 (32689)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岩井 美佐紀 (Iwai Misaki) (80316819)	神田外語大学・外国語学部・教授 (32510)	
研究分担者	工藤 正子 (KUDO Masako) (80447458)	京都女子大学・現代社会学部・教授 (34305)	
研究分担者	横田 祥子 (YOKOTA Sachiko) (80709535)	滋賀県立大学・人間文化学部・助教 (24201)	
研究分担者	床呂 郁哉 (TOKORO Ikuya) (90272476)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授 (12603)	